



阿蘇市

橋梁長寿命化修繕計画
(橋梁個別施設計画)

令和8年5月

阿蘇市 土木部 建設課

目 次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 道路施設の現状と課題 | 1 |
| (1) 阿蘇市の道路概要 | 1 |
| (2) 阿蘇市の橋梁概要 | 2 |
| 2. 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方 | 3 |
| (1) 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方 | 3 |
| 3. 今後の計画方針 | 3 |
| (1) 老朽化対策における基本方針 | 3 |
| (2) 対策の優先順位の考え方 | 3 |
| (3) 新技術等の活用 | 3 |
| (4) 費用の縮減に関する具体的な方針 | 4 |
| (5) 対象施設、個別施設の状態（健全度）、実施時期、対策内容 | 5 |

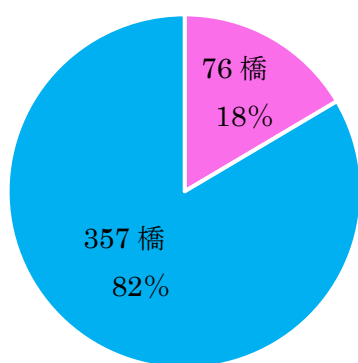
(2) 阿蘇市の橋梁概要

阿蘇市が管理する橋梁数は、道路橋 433 橋（15m 以上橋梁 76 橋、15m 未満橋梁 357 橋）、BOX 橋 70 橋、合計 503 橋あります。

橋梁数

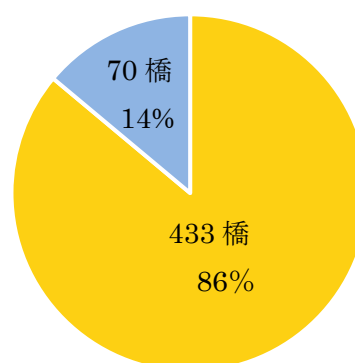
| 管理橋梁合計 | 道路橋 | | BOX 橋 |
|--------|-----|---------|-------|
| | 橋梁数 | 15m以上橋梁 | |
| 503 | 76 | 357 | 70 |

【橋長の割合】



■ 道路橋15m以上橋梁 ■ 道路橋15m未満橋梁

【橋梁種別の割合】



■ 管理橋梁合計橋梁数 ■ BOX橋

道路橋とは？

道路、鉄道、水路等の輸送路において、輸送の障害となる河川、溪谷、湖沼、海峡あるいは他の道路、鉄道、水路等の上方にこれらを横断するために建設される構造物。

(BOX 橋以外)

BOX 橋とは？

道路の下を横断する道路や水路等の空間を得るために、盛土あるいは地盤内に設けられる剛性ボックスカルバート。橋長 2 m 以上かつ土被り 1 m 未満のカルバートを指す。

2. 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

(1) 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

インフラは、利用状況、設置された自然環境等に応じ、劣化や損傷の進行は施設ごとに異なり、その状態は時々刻々と変化します。現状では、これらの変化を正確に捉え、インフラの寿命を評価することは技術的に困難であるという共通認識に立ち、インフラを構成する各施設の特性を考慮した上で、定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。

このため、橋梁の点検については、定期点検要領に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、結果については、4段階で区分することとしています。

| 区分 | | 状態 |
|-----|--------|---|
| I | 健全 | 構造物の機能に支障が生じていない状態 |
| II | 予防保全段階 | 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態 |
| III | 早期措置段階 | 構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態 |
| IV | 緊急措置段階 | 構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態 |

3. 今後の計画方針

(1) 老朽化対策における基本方針

点検結果をもとに、今後5年間の修繕計画を作成し5年に1回の定期点検サイクルを踏まえながら点検間隔が明らかとなるよう計画期間は10年とします。

なお、点検結果等を踏まえ、毎年度、計画を更新します。

(2) 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な対策を講じます。

橋梁の対策は、第三者に対する安全性に著しく影響を及ぼし、緊急的に対応が必要な損傷がある橋梁を優先的に実施します。

速やかに補修を行う必要がある区分「健全度Ⅲ」と判定した橋梁については、損傷箇所数や損傷程度を考慮し、優先的に対策を実施します。

(3) 新技術等の活用

① 活用方針

定期点検や修繕計画において、コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、従来技術と新技術【情報提供システム (NETIS)】を比較検討し修繕費用の省力化や費用縮減を目指します。

② 短期的な数値目標

これまでの取り組みと比較して、令和12年度までに管理している橋梁の中で判定ⅢⅣの23橋に対して新技術の活用により100万円のコスト削減を目指す。

(4) 費用の縮減に関する具体的な方針

- ① 令和12年度までに、これまでの社会経済情勢や周辺環境の変化などを鑑みながら、利用者の利便性、交通量、迂回路等を考慮して施設の集約化・撤去などの検討を進めながらコスト縮減を目指します。

また、迂回路が存在し地域住民と合意を得られた橋梁の集約化・撤去及び機能縮に取り組むことを目指し、小規模橋梁(2m未満)についても検討を行いボックスカルバート化に取り組んでいく。

② 短期的な数値目標

令和12年度までに1橋の集約化・撤去を行い、約50万円のコスト縮減を目指す。小規模橋梁のボックスカルバート化により橋長2m未満となるため橋梁点検から外れる橋梁が2橋見込まれるため、100万円のコスト縮減が見込まれる。

(5) 施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用

阿蘇市管内における対象施設、個別施設の状態(健全度)、対策内容、実施時期、概算の費用については以下の表のとおりである

